

### 「木質バイオマス熱利用普及促進」セミナーが開催されました？

3/8、県民交流センターで開催された同セミナーには行政関係を含め、木材関連会社からも多数の参加がありました。近年、太陽光発電に続き、バイオマス発電が各地に建設されており、丸太の海外輸出と共に、木材の需給に影響を与えるのではないかと危惧されています。

セミナーでは（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会の斉藤専門委員の基調講演があり、地域における熱利用の現状の報告があった。現在の木質バイオマスは木材由来が中心であり、木材は昔から燃料用の薪として、オガ粉は畜産用の敷料として利用されていた。燃焼効率を高める為には含水率を下げる事が重要であり、その為にペレットやブリケット等にして利用する。地域の活性化のために木質バイオマスで温泉センターや学校、医療・福祉等公共施設、地域民間住宅、農業施設等へ温熱を供給する事例もある。また、地域として温熱利用する設備導入を検討する場合の注意検討すべき点等の説明もあった。

その後、4人のパネリストを交えシンポジウムが行われた。木質ペレットを熱エネルギーとして利用されている2人のパネラーから、ペレットのコスト、運送コスト、焼却灰の処分、焼却装置の性能等についてペレットを使うメリットとデメリットの話があった。又実際ペレットやブリケットを製造販売している2人のパネラーからはその特徴について説明があった。

特に興味をひかれたのは、乾燥材や集成材を製造している大規模な製材工場で、以前から工場廃材を利用した発電・自社利用して、環境に配慮した工場として有名な宮崎県の吉田産業が製造しているブリケットです。乾燥済み木材を寸法仕上げするときに出る乾燥チップ(含水率10%程度)のみを高圧縮し比重1程度に固めて作られており、広葉樹の薪より発熱量の高いものです。サンプルを頂きましたが、断面が7~9cm、長さも15~30cmで、薪ストーブだけでなく、ピザ釜やキャンプ等でも使いやすい製品です。しかし、木材業者でも製造コストを考えると簡単には製造出来そうにありません。

#### 【情報】

#### 製品価格低迷が続いています

需要の低迷が続いています。市場の在庫が買い方に安心感を与え、当用買いに徹しているようです。2M板材等に若干の不足感はあるものの、价格的にメーカーも増産には踏み切れない状況です。梅雨明けまでこの状況が続くのか不透明です。

#### 【定休日】

4月は2, 3, 9, 10, 16, 17, 23, 24日となります  
5月は1, 2, 3, 4, 5, 8, 15, 21, 22, 29日となります  
宜しく申し上げます。

#### 01 地球温暖化防止

大気中の二酸化炭素排出量の削減には影響を及ぼさない木質バイオマス、化石燃料の代替としてエネルギー利用することで二酸化炭素の増大を抑制

#### 02 循環型社会の形成

二酸化炭素を吸収・固定しながら成長した樹木をエネルギー源として使い、発生した二酸化炭素を再び森林に固定させるという物質循環のしくみを構築

#### 03 森林資源の有効活用

間伐などの森林施策に伴う林地残材等の有効活用

